

教員免許状更新講習一覽

●講習はすべて宇治キャンパスで実施します。

●必修領域 全ての受講者が受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	主な受講対象者	担当教員	定員
H01	平成29年 7月22日(土)	【必修】 教育の最新事情(中等教育)	中学校・高等学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	大西 巧 澤 達大 松田 美枝 田中 亨胤	50人
H02	平成29年 7月22日(土)	【必修】 教育の最新事情(初等教育)	幼稚園・小学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	寺田 博幸 中島 千恵 田中 亨胤	50人

●選択必修領域 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
SH01	平成29年 7月27日(木)	【選択必修】国際理解教育	特定 しない	中学校・ 高等学校教諭	奥野 克己 澤 達大 山本 晃輔	60人
SH02	平成29年 8月4日(金)	【選択必修】遊びから考える学校、 家庭及び地域の連携	特定 しない	幼稚園・ 小学校教諭	岡本 浄実	40人

●選択領域 受講者が任意に選択して受講する領域

講習No.	講習の期間	講習の名称	対象職種	主な受講対象者	担当教員	定員
S01	平成29年 7月28日(金)	【選択】体験で学ぶ マインドフルネスを生かす教育	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校教諭、 養護教諭	濱野 清志	50人
S02	平成29年 7月29日(土)	【選択】気付きの質が高まり、 学ぶ意欲が育つ生活科学学習の展開	教諭	小学校教諭	寺田 博幸	50人
S03	平成29年 7月31日(月)	【選択】社会保障制度の 全体像をつかむ	教諭	中学校・ 高等学校教諭	森合 真一	50人
S04	平成29年 7月31日(月)	【選択】地震・災害の考古学	教諭	小学校・中学校・ 高等学校教諭	山中 章	70人
S05	平成29年 8月1日(火)	【選択】学校教育での芸術療法 (コラージュ療法)の利用	教諭 養護教諭	幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校教諭、 養護教諭	森谷 寛之	50人
S06	平成29年 8月1日(火)	【選択】授業と学級経営の相乗効果で 子どもの可能性を伸ばす	教諭	小学校教諭	大前 暁政	70人
S07	平成29年 8月3日(木)	【選択】子どもとかかわる身体	教諭	幼稚園・ 小学校教諭	本山 益子	36人
S08	平成29年 8月4日(金)	【選択】宇治の文化と文学	教諭	幼稚園・小学校・ 中学校・ 高等学校教諭	千古 利恵子	50人
S09	平成29年 8月8日(火)	【選択】教師と子どものための メンタルヘルス	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・中学校・ 高等学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	松田 真理子 平尾 和之	270人
S10	平成29年 8月8日(火)	【選択】絵本、再発見	教諭	幼稚園・ 小学校(低学年) 教諭	三林 真弓	24人
S11	平成29年 8月8日(火)	【選択】子どもが夢中になり多様な 動きを身に付ける運動遊び	教諭	幼稚園・ 小学校(低学年) 教諭	香村 恵介	42人
S12	平成29年 8月9日(水)	【選択】教員としての コミュニケーション能力を高める	教諭 養護教諭 栄養教諭	幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校教諭、 養護教諭、栄養教諭	森川 知史	150人

※免許状の更新には、必修領域 6 時間、選択必修領域 6 時間及び選択領域 18 時間(合計 30 時間)の講習を履修することが必要です。
※同一講習を複数回受講することはできません。昨年度と同名の講習は基本的に同一内容となりますので、履修証明書で履修済みの講習をご確認の上、お申し込みください。

講習No.
H01
必修

【必修】教育の最新事情(中等教育)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月22日(土)

受講料 6,000円

定員

50人

時間数

6時間

試験方法

筆記試験

講習の概要

「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と中等教育(中学校・高等学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、中学校及び高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。

担当
講師

大西 巧

(臨床心理学部臨床心理学科教授)

澤 達大

(総合社会学部総合社会学科准教授)

松田 美枝

(臨床心理学部臨床心理学科講師)

田中 亨胤

(兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

1限

9:00~10:30(90分)

教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性

教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。

2限

10:40~12:10(90分)

配慮を要する子どもたちへの個別教育・支援

特別支援教育が学校教育法に位置づけられ、障害をもつ子どもたちに対する個別的な教育や支援が行われるようになっている。本講習では、個別教育・支援の具体例を取りあげ、アセスメントや支援方法について受講者とともに考えた上で、分かりやすく解説する。

3限

13:10~14:40(90分)

新しい学びへの対応

学習指導要領の改訂に伴い、学校教育は新しい学びにどう対応していけばよいのか、組織力を生かした創意・工夫や知恵が求められる。教員は、研修機会を通して学習指導要領の内容をよく理解した上で、教育実践を着実に積み重ねていくことが大切である。さらに、国内外の教育情報を交え、これからの学校の在り方や教育について再考する機会としたい。

4限

14:50~16:20(90分)

社会の変化を踏まえた生徒の理解と指導

子どもを取り巻く社会の急激な変化は、生活全般に大きな影響を与えている。その実態と問題点を整理し、生徒指導のあり方を検討する。さらに将来の展望を踏まえて、生徒たちに必要なキャリア教育について考えていく。

5限

16:30~17:00(30分)

修了認定試験

講習No.
H02
必修

【必修】教育の最新事情(初等教育)

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月22日(土)

受講料 6,000円

定員

50人

時間数

6時間

試験方法

筆記試験

講習の概要

「国の教育政策や世界の教育の動向」、「教員としての子ども観、教育観等についての省察」、「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」、「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの領域に関する教育課題について、昨今の状況や動向をもとに、学校教育全体からの視点と初等教育(幼稚園・小学校)の現場に絞った専門的視点から読み解く。主な受講対象者は、幼稚園及び小学校教諭、養護教諭、栄養教諭とする。

担当
講師

寺田 博幸

(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

中島 千恵

(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

田中 亨胤

(兵庫教育大学名誉教授、京都文教短期大学非常勤講師)

1限

9:00~10:30(90分)

グローバル時代における「生きる力」と教育における「平等」を考える

新学習指導要領総則の趣旨や近年の審議会の議論、教員に関わる行政の動向などを踏まえた上で、グローバル時代における「生きる力」と教育における「平等」について幼児期から義務教育段階まで海外での実践も紹介しながら考える。

2限

10:40~12:10(90分)

教員スタンダードとしての専門的職能性と倫理性

教員に求められる教育実践力の向上につながる基本視座について確かめる。社会変化の現実を受けとめるとともに、教員が身につける「子ども観」「発達観」「教育観」、教員としての倫理性や品格などの諸点から、専門職者としての教員のスタンダードについて省察する。

3限

13:10~14:40(90分)

幼児期、児童期における子どもの発達への理解と子どもの育ちに対する支援の重要性

幼児期から児童期における子どもの発達について理解するとともに、社会や家庭環境の変化に伴う子育て支援の必要性や発達障がいの子どもの理解と支援について、臨床心理学的な視点から考察する。

4限

14:50~16:20(90分)

「子どもが互いに認め合い、高め合う学級集団づくり」の取組と教師の役割

個が存在感を実感するとともに、互いに認め合い、高め合う学級集団を形成するため、教師が果たすべき役割や個への働きかけについて、以下の視点から考察する。
・学校教育目標の具現化と学級経営の構想
・学級集団づくりと教科等の指導

5限

16:30~17:00(30分)

修了認定試験

講習No.
SH01
選択必修

【選択必修】国際理解教育

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月27日(木)

受講料 6,000円

対象職種 特定しない

定員	時間数	試験方法	担当講師
60人	6時間	筆記試験	奥野 克己(総合社会学部総合社会学科教授) 澤 達大(総合社会学部総合社会学科准教授) 山本 晃輔(大阪大学未来戦略機構第五部門特任助教)

主な受講対象者 中学校・高等学校教諭

講習の概要

従来より、「総合的な学習」や「社会科」などの授業を中心に、各校で国際理解教育や異文化教育が実践されてきた。しかし、国際化や多文化化が今後さらに進展していく中で、外国籍生徒への対応などの場面で、新たな対応能力を求められることが予想される。本講習では、最新の国際理解教育の事情を幅広く紹介し、異文化理解の事例としてイスラーム社会を中心に理解を深め、今後の学校現場でのあり方を考えていく。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
国際理解教育の概要 1974年のユネスコ勧告の採択以降、国際理解や国際協力、国際平和のための教育は、総合的な学習などで取り組まれてきた。近年は、多文化教育やESD(持続可能な開発のための教育)など、その教育は多岐にわたっている。本時では、国際理解教育の概要を把握し、現状を理解していく。	多文化共生社会の現状と学校現場 日本で暮らす外国人が増加し、その国籍も多様になっている。幼稚園や学校には、外国にルーツのある児童の教育とともに、たとえ国籍や文化が異なっても誰もが暮らしやすく地域住民の一員として活躍できる多文化共生の地域づくりの拠点となることが期待されている。そうした教育現場における取り組みと課題について考える。	異文化理解の方法(イスラーム文化を中心に) 中東およびイスラームをめぐる紛争報道が続いている。ここではまず、イスラームの基礎理解をめざす。イスラームは精神面だけでなく生活全般、社会のあり方を扱う「生きる指針」といわれる。講師の30年におよぶ中東研究(文化人類学的フィールドワーク)により人びとのイスラーム実践を具体的に伝える。	異文化理解の方法(イスラーム文化を中心に) 3限の講義にそった「国際理解教育」を考える。グローバルな時代において観光客のみならず仕事やいろいろな目的で人びとは移動している。ムスリム(イスラーム教徒)も同じである。そこでイスラームの食規制(ハラールとハラーム)を理解し、どのように向き合えばよいかを考える。	修了認定試験

講習No.
SH02
選択必修

【選択必修】遊びから考える学校、家庭及び地域の連携

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月4日(金)

受講料 6,000円

対象職種 特定しない

定員	時間数	試験方法	担当講師
40人	6時間	筆記試験	岡本 浄実(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭

講習の概要

本講習では、学校、家庭及び地域の連携及び協働を取り上げる。現代社会と近年の学校を取り巻く状況の変化、「遊び」から考える体育と生涯スポーツをテーマに講義を行う。また、できないからこそ面白い～多様な動きを体験する～、連携を基盤とした協働活動の実践例をテーマに演習を行う。講義・演習を通して理解を深めると共に、「遊び」をテーマに勤務地での学校・家庭・地域との協働の方法について考える。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:30(90分)	4限 14:40~15:40(60分)	5限 15:50~16:30(40分)
できないからこそ面白い～多様な動きを体験する～ 子どもが夢中になってチャレンジすること、自然に多様な動きを体験できる体の動かし方について学び、日常にある様々な道具を使って「半分できて半分できない」をキーワードに演習を行う。	「遊び」から考える体育と生涯スポーツ 発育発達における遊びから小中学校の教科体育への接続、「生きた力」「自発的な運動」「体を動かす機会」「人との関わり」等、豊かなスポーツライフの素地について解説する。	現代社会と近年の学校を取り巻く状況の変化 各省庁のデータから現代社会と近年の学校・家庭・地域を取り巻く環境について解説する。	連携を基盤とした協働活動の実践例 ノーマディア、体力、祭り、早寝・早起き・朝ご飯等をテーマに学校・家庭・地域の連携事例を紹介する。また、事例を用いてグループワークを行う。	修了認定試験

備考

本講習は演習を行います。上靴をご持参のうえ動きやすい服装(パンツスタイル)でお越しください。

講習No.
S01
選択

【選択】体験で学ぶ マインドフルネスを生かす教育

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月28日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	濱野 清志(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

本講習では、近年注目されつつあるマインドフルネスの考え方を紹介し、児童生徒自身がそれぞれ自分自身を見つめ、自己理解を深め、同時に、心身のバランスを自己調整する基本を、描画表現、気功による身体表現などを通して、体験的に理解できるようにします。また、教師自身の体験的理解をもとに児童生徒の生活上の自己理解と自己調整を促進する手立てを学びます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
マインドフルネスとは マインドフルネスとは臨床心理学はもとより教育、医療、福祉の分野で近年注目されつつある一定の心の態度を示すキーワードとなってきた。その意味と意義を理解する。	自分の体験と向き合う 線を引くという単純な体験のなかに自分を発見し、そこに生じている主観的体験を他者と話し合うことによって自分自身のありようを深く正直に見つめる練習をする。	気功による マインドフルネスの体験 気功を例として、マインドフルネスを体験的に理解し、そのことを通じて身体を整え、心と身体の関係を見つめなおす作業をする。	マインドフルネス体験の 広がり 3限に引き続き、気功を通じた自己理解の方法を体験し、さらに呼吸法、ふれあいによる交流を通じた自己理解などを体験的に学ぶ。	修了認定試験

備考

本講習は実技を行います。上靴をご持参のうえ動きやすい服装(パンツスタイル)でお越しください。

講習No.
S02
選択

【選択】気付きの質が高まり、 学ぶ意欲が育つ生活科学習の展開

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月29日(土)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	寺田 博幸(臨床心理学部教育福祉心理学科教授)

主な受講対象者 小学校教諭

講習の概要

生活科の教育原理を踏まえ、気付きの質を高め、学ぶ意欲を育てる生活科学習について、理論と子どもの実際の姿から学びます。子どもに取り組ませたいという教師の願いと子どもが「やってみたい、やってみよう」という思いをすりあわせながら、探究活動の醍醐味を味わわせる指導と評価について考察していきます。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
生活科の教育原理と 生活科で育てる力 生活科の教育原理を踏まえ、子どもの思考の流れを大切に単元構想について考察していきます。	学ぶ意欲を育てる生活科の実際 対象とかわりながら学ぶ意欲を高めていく子どもへの支援と評価について考察していきます。	主体的に学び、気付きの質を高める 生活科学習の展開 子どもの主体的な学びが、気付きの質を高め、そうした一連の営みから、さらに学ぶ意欲が喚起されていきます。この時間では、子どもの探究心をわきたたせる“学び”について探っていきます。	まとめと修了認定試験 生活科の指導と評価の一体化についてまとめ、修了認定試験を実施します。

備考

はさみ、のり、『小学校学習指導要領解説 生活編』(文部科学省、平成20年8月)をお持ちください。
(文部科学省ホームページ<http://www.mext.go.jp>に掲載のPDF版(文部科学省、平成20年6月)を印刷したものでも可)

講習No.
S03
選択

【選択】社会保障制度の全体像をつかむ

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月31日(月)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	

森合 真一(豊岡短期大学こども学科専任講師、京都文教大学非常勤講師)

主な受講対象者 中学校・高等学校教諭

講習の概要

社会保障制度の分野は幅広く制度が複雑で個別の改正も頻繁に行われており、中学生・高校生がその内容を理解することは困難です。しかし、少子高齢化が進行する現代社会を生き抜くうえで、社会保障制度の基本的な機能や構造を理解しておくことが必要です。そこで本講では、社会保険、社会扶助や社会福祉の基本的な事柄についてわかりやすく解説をします。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:00(70分)	4限 14:10~15:20(70分)	5限 15:30~16:30(60分)
社会保障制度の体系と、その財源および費用 我が国の社会保障制度は広範であり、少子高齢化の進行などを背景に財源の確保が課題となっています。この時間は、社会保障制度を体系的に整理し、私たちの社会を支えるうえで財源確保の議論がいかに大切なか、社会保障制度の現状について考えます。	所得保障 病気や失業、老齢等の原因により、所得の喪失や中断、減少等、生活の安定を損なう事態が生じたときに制度を通じて現金を給付することにより生活の安定に結びつける制度で、年金制度、社会扶助、生活保護等についてお話します。	医療・介護保障 疾病や障害の治療や健康の増進・回復のために医療機関等において保健・医療サービスを受けることが保障される制度で、2000(平成12)年度から始まった介護保険制度についても併せてお話します。	社会福祉 個人の自己責任による解決に委ねることが困難な生活上の諸問題に対して、行政機関がさまざまなサービスを提供することにより、生活の安定や自己実現を支援する制度です。社会福祉の法体系、児童家庭福祉についてお話します。	修了認定試験 本日の講義を踏まえた論述式の修了認定試験(筆記試験)を実施します。

講習No.
S04
選択

【選択】地震・災害の考古学

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年7月31日(月)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
70人	6時間	筆記試験	

山中 章(三重大学人文学部名誉教授・京都文教大学非常勤講師)

主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校教諭

講習の概要

日本列島は、自然災害の歴史と言っても過言ではないほど度々地震や火山噴火、台風、洪水といった自然の営みによって破壊され、再建に多大な財力と労力を費やしてきました。その実態はいかなるものであったのか、時の政権はいかなる対応をとったのか、主に日本古代・中世の文献史料や発掘資料から確認できる地震や火山噴火に伴う災害の歴史について学びます。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
日本の地震・火山災害の歴史 主に日本古代・中世の文献史料や発掘資料から確認できる地震や火山噴火に伴う災害の歴史についてご紹介します。	天平・開元地震と運動地震 中国唐代の史料『旧唐書』・『新唐書』、日本古代の『続日本紀』には734年中国甘肅省と日本の近畿地方を襲った大規模な地震の記録が残る。運動の正否は不明だが、ユーラシアプレートの東端に位置する西日本とインドプレートとユーラシアプレートの境界に位置するシルクロードでわずか1ヶ月の間に大地震の記録が遺ることは見逃せない。それぞれの地震の一端を垣間見る。	貞観地震と東日本大震災 貞観11(869)年『日本三代実録』には東北地方を襲った巨大地震の記録が残る。その描写は2011年3月11日、東北地方を襲った巨大地震とあまりによく似ている。発掘調査によっても確認できる地震の爪痕から、巨大地震の履歴を考える。	浜名湖を生んだ明応地震 明応7(1498)年、東海地方を襲った巨大地震は浜名湖を海と繋ぎ、日本三大津として知られた安濃津を消滅させる巨大地震であった。浜名湖周辺や伊勢湾岸はこの地震によって景観を一変させた数多くの村や港を消滅させた。	修了認定試験 講習内容の達成度確認のための試験。

講習No.
S05
選択

【選択】学校教育での芸術療法 (コラージュ療法)の利用

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月1日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
50人	6時間	筆記試験	森谷 寛之(臨床心理学部臨床心理学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

コラージュとは、雑誌やパンフレットなどの既成の絵や写真をはさみで切って、台紙の上で構成し、糊で貼り付けるシンプルな方法である。これを講師は1987年に箱庭療法を参考にコラージュ療法として提案した。以後、教育・医療・福祉・矯正分野で広く用いられている。本講習ではコラージュ制作実習を通じて方法を学び、教員自身が自分でその効果を確かめる。また、この体験をもとにして、生徒の作品をよりよく理解できるようにする。生徒とのコミュニケーションとして芸術療法が利用できることを学んでいく。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
コラージュ療法とは コラージュ療法を発想したいきさつとその基本的な考え方を示す。美術教育との違いなども説明する。	コラージュ制作実習 実際に自分でコラージュ制作をする。	作品のふりかえり 作品を通じて自分の気持ちを表現してみよう。生徒理解の方法を説明する。	作品の理解の仕方 子ども達の作品を通じて、生徒理解を深めよう。精神発達と作品の変化を理解する。	修了認定試験 どれぐらい理解できたかを振り返る。

備考

制作体験をします。日頃なじみで、切り抜いても差し支えない雑誌などを2、3冊と糊・はさみをご持参ください。

講習No.
S06
選択

【選択】授業と学級経営の相乗効果で 子どもの可能性を伸ばす

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月1日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
70人	6時間	筆記試験	大前 暁政(臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)

主な受講対象者 小学校教諭

講習の概要

よい学級は、子どもが生き生きと過ごし、自分の可能性を伸ばしているという実感をもっています。そのような学級を創り出すための、授業や学級マネジメントの方法を紹介します。現場から生じるさまざまな問題、教師の悩み等をふまえながら、理論だけでなく現場ですぐに役立てられる実学を修得することを目的としています。学級経営と授業を関連させていくことで、相乗効果が得られることを、実例をもとに解説します。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
学級マネジメントの方法論と実践 学級経営の筋道を、「学級のシステムづくりと学級の成長段階」、「マネジメントサイクル」、「個々の子どもへの目標意識の持たせ方、差別いじめ防止法」の三つに分けて理論を紹介するとともに、実践について解説する。	学級経営と授業を関連させ、相乗効果を生み出す方法 学級経営の中で設定した個々の子どもへの目標を実現していくための、授業における役割を紹介する。また、子どもを伸ばすための授業のやり方の基礎技能を解説し、演習を通して体験的に授業の方法論を学ぶ。	配慮を要する子への対応法と授業技術 特別支援を要する子どもや、生徒指導上問題を抱えた子どもに対して、どのようにアプローチしていくかを、目標像の設定と、日々の指導記録、フィードバックサイクルなどの観点をもとにして解説する。	まとめ・修了認定試験 学級マネジメントの理論をもとにして、実際に自分の学級でどのような目標と手立てが考えられるのかを演習してまとめとする。最後に、マネジメントの理論や授業理論、発達障害などの知識や技能について、試験を行う。

講習No.
S07
選択

【選択】子どもとかかわる身体

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月3日(木)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	本山 益子(京都文教短期大学幼児教育学科教授)
36人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校教諭

講習の概要

教育者が人的環境であることは周知のことである。子どもが身体で訴えている何かを感じると同時に、安心できる雰囲気を出し対応できる教育者の身体性について検討したい。具体的には、身体で他者と響きあうこと・つながることを実感するために、ゲームや身体表現遊び(幼稚園・小学校低学年向け)を行う。さらに、講義においては、エピソードなども手がかりに、身体コミュニケーションに纏わる問題の検討につなげる。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~12:10(120分)	3限 13:10~15:10(120分)	4限 15:20~16:20(60分)
実技1 他者と響きあい、つながる身体を実感しましょう。	実技2 歌やイメージを手がかりにした身体表現遊びを実践します。	講義・演習 教育現場における教育者の身体性について、多様な観点から検討します。	修了認定試験

備考

実技は、動きやすい服装・汗をかいてもかまわない服装に着替えてください。
体育館シューズとタオルをご用意ください。

講習No.
S08
選択

【選択】宇治の文化と文学

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月4日(金)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	千古 利恵子(京都文教短期大学幼児教育学科教授)
50人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭

講習の概要

我が国の伝統や文化を尊重する心を育成するためには、教員自身が日本の伝統や文化について関心を深めることが重要である。本講習では、宇治の風景・人々の暮らしを伝える資料や文学作品などを鑑賞しながら、宇治の昔と今を検証し、「次世代に伝えるべき文化」について考える。なお、伝統文化継承の今日的課題を明らかにするために、宇治の伝統文化の一つ「鵜飼」を取り上げる。課題提示にあたり、ゲストスピーカーに鵜匠を迎え、その日常を知る時間を設ける。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)
宇治の景色の昔と今 —文字に描かれた宇治— 古典文学には、宇治を舞台にした出来事や風景が描かれている。その中から代表的な作品を選び鑑賞することを通して、宇治の地の昔と今を比べる。	宇治の伝統文化と人々の暮らし 時代を問わず、人々の暮らしは生活する土地の文化と深くかわり、影響を受けるのだろう。宇治は、世界遺産の保存という社会的使命を担うことが、人々の暮らしにどのような影響をあたえるのか、考えてみる。	宇治川の鵜飼と伝統の継承 —鵜匠を招いて— 伝統文化の継承は、学校教育においても重んじられている。そこで今回は、宇治の文化継承者の話をふまえ、「伝えるべき文化とは何か」「継承にはどのような課題が有るのか」を検証する。	まとめと修了認定試験

講習No.
S09
選択

【選択】教師と子どものための メンタルヘルス

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月8日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭、栄養教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	松田 真理子(臨床心理学部臨床心理学科教授) 平尾 和之(臨床心理学部臨床心理学科教授)
270人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭

講習の概要

小・中・高校時代は、様々な対人関係を通して社会性を身につけながら、一方で「自分らしさ」という個性を形成していく心理的課題に満ちた時期です。この時期には、身体的・社会的にも大きな変化をとめない、精神的不調が起こりやすくもあります。本講習では、この時期に子ども達が直面する様々な心理的課題や精神的不調、孤食や不規則な食生活に纏わる課題、摂食障害など精神・身体面での問題、そして子ども達を育み守る教師自身のメンタルヘルスについて、その理解と具体的な対応・援助を学びます。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:10(90分)	3限 13:10~14:40(90分)	4限 14:50~16:20(90分)	5限 16:30~17:00(30分)
子どもの発達課題と心の不調 学童期・思春期の各年代における発達課題と心の不調についてエリクソンのライフサイクル理論と精神医学の観点からお話しいたします。	学校現場における課題と 具体的な対応 学童期・思春期の子どもの精神的不調に対する具体的な対応、学校現場での課題、父母への対応と支援、医療機関との連携、教職員自身のメンタルヘルスなどにつき、演者のスクールカウンセラーとしての経験を踏まえながらお話しいたします。	教師の精神的不調の理解と 援助 教師に起こりやすい精神的不調(ストレス関連、不眠、不安、うつ)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	子どもの精神的不調の理解と 援助 学童期・思春期の子どもに起こりやすい精神的不調(発達障害・虐待にともなう問題、自律神経症状、不安・うつ、摂食障害、そしていま話題の精神病体験まで)の理解と援助について、精神科医としての経験を踏まえながら、お話しいたします。	修了認定試験

講習No.
S10
選択

【選択】絵本、再発見

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月8日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	三林 真弓(臨床心理学部臨床心理学科教授)
24人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校(低学年)教諭

講習の概要

子どもに関わる媒体として、絵本はとても身近なものでしょう。講習では、一方的な読み手から解放され、改めて絵本の魅力を再発見できる機会を提供したいと思います。臨床心理学的な視点を通して、いろいろな角度から教育現場での絵本の効果的な活用法に迫ります。読み聞かせの実践も行います(幼稚園・小学校低学年向け)。日頃から絵本が好きな方、絵本についてディスカッションをしたい方にご参加いただきたく思います。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:40~12:00(80分)	3限 13:00~14:40(100分)	4限 14:50~16:20(90分)
絵とストーリーが生まれる 源泉を知る 描画法のひとつであるスクイグルを体験し、創造する(想像する)力を養う。	絵本について知識を深める 絵本について大脳生理学的・臨床心理学的な観点からレクチャーを行う。絵本作家がどのような意図で絵本を作っているかを理解し、特に読み聞かせをしてもらう子どもがどのように絵本をみているのかについて理解を深める。	絵本の読み聞かせの実践 学内の図書館に移動し、絵本を選書する。2人ないしは3人で絵本の読み聞かせの実践を行う。読み聞かせをしてもらう側の立場に立つことで、普段気づいていないことに気づくこと、さらに読み聞かせを受講者同士で行うことで、普段の読み聞かせの良さあるいは癖などに気づくことを目的とする。	全体の振り返りと修了認定試験 全体を振り返っての質疑応答を行い、本日の授業を踏まえた論述式の筆記試験を受ける。

備考

「お気に入りの絵本」「受講者の皆さんに是非紹介したい絵本」がありましたら、ご持参ください。あれば、で結構です。

講習No.
S11
選択

【選択】子どもが夢中になり多様な動きを 身に付ける運動遊び

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月8日(火)

受講料 6,000円

対象職種 教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
42人	6時間	筆記試験	香村 恵介(京都文教短期大学幼児教育学科講師)

主な受講対象者 幼稚園・小学校(低学年)教諭

講習の概要 幼少期の運動遊びは「何のためにするのか?」、「何をするのか?」、「どのようにするのか?」。上記の問いに対して、子どもの保育・教育に携わる者が共通理解を持って取り組むことが、心身共にたくましい子どもを育むために重要である。本講習では、学術研究や社会調査の結果も交えながら運動遊びに関する理解を深めることに加え、実際に体を動かしながら現場で実践可能な運動遊びの展開方法を学ぶ。

1限 9:00~10:00(60分)	2限 10:10~11:10(60分)	3限 11:20~12:20(60分)	4限 13:20~14:50(90分)	5限 15:00~16:00(60分)	6限 16:15~16:45(30分)
講義：幼児期の運動遊びは「何のために、何を、どのように」するのか? 2012年3月に文部科学省から公表された「幼児期運動指針」の内容にも触れながら、幼児期の運動遊びを展開する上での心構えを学びます。	実技1：道具なしで楽しむ多様な動きのある運動遊び 幼児期に偏りなく経験させたい「バランス系」、「移動系」、「操作系」、「力系」の動きを、特別な道具を使用することなく、ベアや全員で関わりながら楽しく展開する方法を学びます。	実技2：2歳児・3歳児でも楽しめる運動遊び・親子遊び 低年齢の子どもでも体を思い切り動かして楽しむことができるように、イメージや言葉かけなどを工夫した展開方法を学びます。また、参観や園開放の時に、親子で楽しむ運動遊びも実践します。	実技3：鳴子、組体操、パラバルーンを組み合わせた運動会演技 3つの演技を単発ではなく組み合わせで構成することで、いつもの運動会練習よりも子どもたちが夢中になって取り組み、様々な運動の力、心の力を伸ばすことができます。子どもへの指導のコツを、園で25年以上にわたって体育を教えてきた指導のプロから学びます。	実技4：運動遊びにおける悩み・課題の解決策を考えよう 事前にアンケートで回答していた「運動遊びについて現場で困っていること、課題と感じていること」について、アイデアを出し合いながら、体も動かしながら、解決策を考えていきます。	修了認定試験 本日の講習を踏まえた論述式の修了認定試験(筆記試験)を実施します。

備考 動きやすい服装、体育館シューズをお持ちください。

講習No.
S12
選択

【選択】教員としての コミュニケーション能力を高める

講習の開催地
宇治キャンパス

講習の期間 平成29年8月9日(水)

受講料 6,000円

対象職種 教諭、養護教諭、栄養教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師
150人	6時間	筆記試験	森川 知史(京都文教短期大学ライフデザイン学科教授)

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭、栄養教諭

講習の概要 教員のコミュニケーション能力を問う。コミュニケーションは、人間関係の始まり、関係の構築・維持・発展の全てに関わる。児童・生徒、教員、保護者、地域との関係等、教員のコミュニケーション能力は重要で、求められるのは、話し方だけでなく、聞き方、相手の受けとめ方、非言語の理解法等、多様だ。コミュニケーション能力が如何なるものかを知り、自分の能力の問題点に気づき、自分のあり方を補正していけるよう進めたい。

1限 9:00~10:30(90分)	2限 10:45~12:15(90分)	3限 13:15~14:45(90分)	4限 15:00~16:30(90分)
コミュニケーション能力とは コミュニケーションの能力が求められる時代背景について。「コミュニケーション能力」とは何か。	記号的存在 ことばだけで行われるのではないコミュニケーションの本質について。	教員に求められるコミュニケーション能力 コミュニケーションと人間関係の不可分性について。	まとめ・修了認定試験